

中学生向け絵本づくりワークショップの実施報告

1 概要

「絵本づくり」の作成に携わることにより、子どもたちの表現力、豊かな想像力を育むとともに、絵本をきっかけとして、読書活動や「絵本のまち板橋」の推進へとつなげるため、区内の中学生を対象に、全4回の絵本づくりワークショップを行った。

児童文学作家の川北亮司氏による絵本づくり講義のあと、参加者自身が絵とストーリーを考え、区内印刷・製本企業の協力のもと本格的な絵本を作成した。

2 開催日時

| 日 程 | 内 容 |
|----------|-----------------------------|
| 7月28日（日） | 第1回「児童文学作家 川北亮司氏による絵本づくり講義」 |
| 11月3日（日） | 第2回「原画の確認【入稿】」 |
| （11、12月） | （株式会社オフセット岩村にて印刷） |
| 1月19日（日） | 第3回「製本作業体験」（大村製本株式会社にて） |
| 2月16日（日） | 第4回「作品発表会、川北亮司氏による講評」 |

3 参加者数

20名

4 作品展示

3月3日（月）から3月9日（日）まで、中央図書館図書館ホールで開催する「いたばし子ども絵本展」で展示する。



製本体験の様子



講師と参加者の集合写真

5 アンケートでの主な意見・感想

(1) 楽しかった点

- ・一から物語を作って形にすること。
- ・今までだったら体験できない、本格的な絵本の作成が、とても楽しかったです。
- ・自分の手で絵本を本格的に作れた所。
- ・製本体験です！！しっかりと絵本の形になる工程が分かり体験もさせていただきました。

(2) 苦労した点

- ・物語を作るのははじめてだったので大変だった。
- ・絵本の構成を考えるところ。
- ・しめ切りがあるので、その日程に合わせて、スケジュールを立てることが大変でした。
- ・思っていたよりページが多くて、話をふくらませていくことが大変でした。

(3) 感想など（原文ママ）

- ・1人1人の作品に個性があり、苦労した部分も伝わってきました。1つ1つとても面白かったです。またこのようなイベントに参加してみたいです。
- ・普段は体験することのできない製本などを体験できて、いい機会になった。自分が作ったものが絵本という形になることがすごく嬉しかった。
- ・今回はじめて物語を作ってみて、何かを一から作って形にするのは自分が思っていたよりも大変で、その分やりがいも大きいことがわかったし、体験できてよかった。
- ・自分の小さい頃からの夢の、絵本作家の体験をできて、新たに気づくこともあり、とても良い経験になりました！
- ・みんなの個性ゆたかな作品を見られて大満足です！ ありがとうございます！

6 講師（川北亮司氏（第4回講評抜粋））のコメント

今年も、さまざまな絵本と出会うことができました。絵や文を楽しんで描いているのはもちろんですが、絵本の中に、ゲームやクイズや言葉遊びを取り込んでいるものもありました。

令和元年に21人でスタートした絵本づくりワークショップは、今年で6回目になります。コロナ禍がひどかった年は参加者5人でしたが、今回は20人と、ようやく元に戻った気がしています。

さて、絵本はとてもバラエティーにとんでいました。魔法使いや妖精が登場するファンタジーもありますし、リアルな日常を描いた作品もありました。

内容も、友達と仲直りをしたいと悩む主人公。ひとりでいることの不安を描いた作品。「私」を見失ったキャラが登場するなど、中学生らしい青春の悩みがストレートに伝わってくる作品が多かった気がします。絵の書き方などにも個性的な工夫がたくさんあって、思わず拍手をしてしまいました。

絵本づくりワークショップは、図書館がくれた宝物です。そして、中学生のみなさんが創作した絵本は、まちがいなく図書館の新しい宝物になっていくと思っています。